

## 第二銀が第二地銀初

# POファイナンス導入

## 受発注情報を担保化

【名古屋】第三銀行は1月6日、企業間の受発注情報を電子記録債権化したものを担保に融資する「POファイナンス」を導入した。

実施するもの。地方銀行では横浜銀行、広島銀行の2行が取り扱っているものの、第二地方銀行では初めて。POはパーチェス・オーダー（注文書）の略で、POファイナンスは受発注時点での譲

渡担保融資を可能にするサービス。納入企業である中小企業や個人事業主にとっては、受注時点から資金調達ができる利点がある。同行では以前から受注書を元に融資することはあつたが、サービスと

して仕組みが固まっていなかった。具体的には、TranzaxのPOファイナンスシステムで、同行、発注企業、納入企業をつなぎ、受発注情報を明確化。その情報を電子記録債権化する

ことにより、受発注の時点で融資可能にする。発注企業にとっても、主に下請け先の資金繰り支援による困り込みや倒産防止、自社の資金繰りの改善などを期待できる。

同行ソリューション営業部では、「担保を取ったからと言って融資できるとは限らないが、信用力の補助として活用できる」と意義を説明。今後、Tranzaxと連携しながら、取引先への提案を進めていく方針だ。